言葉をつくり

言葉を退治して

社会を変えるという試み

冒頭、皆様にプレゼントした
愛の参加の妙なる調べは
富山からズームで受講して
くださっているのオルガニスト
筋ジストロフィーで入院生活している
松原葉子さんによるプレゼントです。

葉子さんは分身ロボットカフェで
接客しておられます
店でのお名前は「ようぽん」

ようぼんさんが操縦し、「分身ロボットカフェ DAWN ver.β」で接客するオリヒメ＝ようぼんさん提供

ようぼんさんが富山の病室からオリヒメを操縦して、福場将太さんを取材した＝サウザンスマイルズ提供

講師 厚生労働省 事務次官
伊原 和人さん

2025.6.26 乃木坂スクール

言葉をつくる・言葉を退治する

つくった言葉。広めた言葉。。

寝たきり老人⇒「寝かせきり」にされた犠牲者

善玉コレステロール

かかりつけ薬局　「行き付け薬局」飲み屋みたい、と会長にもうしあげ。。

終末期医療⇒人生最終段階の医療と福祉（厚労省の検討会で奮闘）
⇒人生の最終章
（このシリーズの講師、今期も聴講してくださている花戸貴司doctorの命名）

抑制⇒縛る（八王子の上川病院がカルテに書くように）

退治できていない言葉

特養待機者/認知症患者/健常者/国民負担率/認知症治療病棟
「給付と負担」を「給付と連帯（支えあい）」へ

「寝たきり老人」という言葉は日本だけそのわけは、とキャンペーンをしたら

- 厚労省担当者
  「寝たきり老人半減作戦」⇒多田部長「ゼロ作戦に」

- 厚労省担当者
  「ホームヘルパー５万人計画」⇒吉原事務次官「１０万人計画に」

- 厚労省担当者
  「シルバープラン」⇒戸井田大臣「ゴールドプランに」

そして、介護保険制度へ

共通点が３つあります。それは？？？

- インフォームドコンセント
- ボランティア
- ノーマライゼーション

いずれもカタカナ＝海外からやってきた

そして、誤解されて広められた

いずれも、原点は戦争

日本にきて、魂が抜き取られてしまった

説明と同意
奉仕
共生